

各位

平成 20 年 1 月
総務省総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課
調査委託先：株式会社野村総合研究所

「重要通信の高度化の在り方に関する研究会」のアンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて我が国では、ブロードバンド・インターネットの進展とあいまって、他国に先駆けて^{アイピー}IP電話サービスの本格的な普及が始まっており、特に、「03」や「06」等の市外局番で始まるIP電話が、現在、急速に普及・拡大しています。また、国内外の主要な電気通信事業者においても、従来の電話ネットワークをIPネットワークに移行する計画を相次いで打ち出しており、電気通信事業者が所有する設備も変化しつつあります。

このため、総務省では、電気通信事業においてIP化されたネットワーク等における重要通信の高度化の在り方について意見集約することを目的として、平成19年11月より「重要通信の高度化の在り方に関する研究会」を開催しております。

この度、本研究会の一環として「重要通信に関するアンケート調査」を実施させていただくことになりました。本アンケート調査は、重要通信に関する貴組織・団体のご意見やご要望をお聞きし、重要通信の高度化の在り方について意見集約することを目的として、実施するものです。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、下記の調査にご協力のほどお願い申し上げます。

なお、本アンケート調査は株式会社野村総合研究所に業務を委託して行っております。

敬具

記

1. 調査内容 別添「調査票」
2. 調査票の返送 同封の返信用封筒にて、平成20年1月18日(金)までに到着するよう、調査委託先の「株式会社野村総合研究所」宛にご返送ください。
3. 「重要通信の高度化の在り方に関する研究会」のURL

http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/policyreports/chousa/jyuyou-t/index.html

4. 問合せ先

本調査の内容について、ご不明な点等がありましたら、次の担当までご連絡ください。

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部 情報・通信コンサルティング部
担当：横井、鈴木、木村
電話番号：03-5533-2848

その他、本調査について、ご不明な点等がありましたら、次の担当までご連絡ください。

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 電気通信技術システム課
担当：山下、渡辺、梅城
電話番号：03-5253-5858

以上

調査表

<ご記入上のお願い>

1. ご回答は、総務部門や情報システムを管理している部門の責任者等、貴組織・団体の災害時などの非常時の通信について把握しておられる方にお願いいたします。
2. ご記入は、黒・青のボールペン、万年筆または鉛筆でお願いします。
3. 質問の番号順にお答えください。質問によっては、一部の方だけにお伺いするものがありますが、その場合は矢印などの指示にそってお進みください。
4. ご回答は、あてはまるものの番号を○印で囲んでください。なお、質問ごとに「○は1つ」や「○はいくつでも」というように指定してありますので、ご注意ください。
5. 数字などを回答いただく質問は、お分かりになる範囲でご記入ください。
6. 「その他等、() 内に回答できない場合は、適宜自由様式にて、ご回答ください。ただし、設問を明確にしていただくようお願いいたします。
7. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に封入のうえ、1月18日（金）までに到着するようにご投函ください。

【用語説明】

IP (Internet Protocol : インターネットプロトコル)

インターネットによる通信を行うために必要なもの（通信規約）。

IP電話

通信ネットワークの一部又は全部においてIP技術を利用して提供する音声電話サービス。

重要通信

重要通信とは、電気通信事業法（昭和59年12月25日法律第86号）第8条に規定される通信のことをいいます。重要通信は、現在のサービスの提供形態から、①緊急通報受理機関（警察、消防、海保）への通報電話（110、119、118）である「緊急通報」と、②災害等非常時において重要通信の対象機関から発信される「災害時優先電話」の主に2種類から構成されます。

災害時優先電話

「重要通信を行う機関を指定する件」（平成17年5月17日総務省告示第584号）に定める機関では、災害時など通信が混雑している際でも優先してつながる「災害時優先電話回線」を設定することができます。

通常、大規模な災害時には被災地域に通信が殺到するため、一般の電話はシステムダウンを防ぐため使用が制限されます。災害時優先電話回線は、重要通信を確保する目的から、災害時でも優先的に接続されるものです。

最初に、貴組織・団体の概要と電話回線の利用状況についてお伺いします。

【Q.1】以下の区分から、貴組織・団体の業種を1つお選びください。(〇は1つ)

- | | | | |
|----------------|----------------|---------|--------------|
| 1. 気象 | 2. 水防 | 3. 消防 | 4. 警察 |
| 5. 防衛 | 6. 海上保安 | 7. 輸送 | 8. 通信 |
| 9. 電力 | 10. 水道 | 11. ガス | 12. 選挙管理 |
| 13. 新聞・放送 | 14. 金融 | 15. 司法 | 16. その他の行政機関 |
| 17. その他の地方公共団体 | 18. その他の災害救助機関 | 19. その他 | |

【Q.2】貴組織・団体**全体**の職員・従業員の人数をお選びください。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 10人未満 | 2. 10以上50人未満 |
| 3. 50以上100人未満 | 4. 100以上500人未満 |
| 5. 500以上1,000人未満 | 6. 1,000以上5,000人未満 |
| 7. 5,000以上10,000人未満 | 8. 10,000以上50,000人未満 |
| 9. 50,000人以上 | |

【Q.3】貴組織・団体では、内線を除く外線の電話回線の契約数はどれくらいありますか。(〇はそれぞれ1つ)

	アナログ電話	ISDN	03、06等の市外局番で始まる 可電話	050で始まる可電話	携帯電話	FHS	衛星電話	その他 ()
1. 契約していない	1	1	1	1	1	1	1	1
2. 10契約未満	2	2	2	2	2	2	2	2
3. 10以上50契約未満	3	3	3	3	3	3	3	3
4. 50以上100契約未満	4	4	4	4	4	4	4	4
5. 100以上500契約未満	5	5	5	5	5	5	5	5
6. 500以上1,000契約未満	6	6	6	6	6	6	6	6
7. 1,000以上5,000契約未満	7	7	7	7	7	7	7	7
8. 5,000以上10,000契約未満	8	8	8	8	8	8	8	8
9. 10,000以上50,000契約未満	9	9	9	9	9	9	9	9
10. 50,000契約以上	10	10	10	10	10	10	10	10

【Q.4】災害時優先電話（1ページの用語説明参照）についてお伺いします。貴組織・団体では、この災害時優先電話回線はどれくらいありますか。それぞれおおよその数値をお答えください。（〇はそれぞれ1つ）

	アナログ電話	ISDN	03、06等の市外局番で始まるIP電話	携帯電話	FHS
1. 契約している	1 () 契約	1 () 契約	1 () 契約	1 () 契約	1 () 契約
2. 契約していない	2	2	2	2	2

【Q.5】貴組織・団体では、どの電話が災害時優先電話を利用できるか把握・管理していますか。あてはまるものを、以下から1つお選びください。（〇は1つ）

1. 把握・管理している	2. 把握・管理していない
--------------	---------------

【Q.6】貴組織・団体では、今後、IP電話への移行を考えていますか。また、それはご利用の回線契約数のうち、どれくらいですか。あてはまるものを、以下から1つお選びください。（〇は1つ）

1. 既に全ての回線の移行済みである
2. 全ての回線の移行を検討している
3. 一部の回線を除き、ほぼ全ての回線の移行を検討している
4. 半数以上の回線の移行を検討している
5. 半数未満の回線の移行を検討している
6. ごく一部の回線のみ、移行を検討している
7. まだ移行をしておらず、移行の予定もない（→【Q.9】へ）

【Q.7】**Q6で1～6を選ばれた方**は、IP電話へ移行する理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 通信料金が安い
2. 新しいサービスが期待できる
3. その他 ()

【Q.8】**Q6で1～6を選ばれた方**は、IP電話へ移行した場合の停電への備えをどう考えていますか。（〇は1つ）

1. 発電機や無停電電源装置などで対応する
2. アナログ電話や携帯電話など、IP電話以外で対応するため、必要ない
3. 停電への備えを行っていない
4. 停電した場合、IP電話が利用できなくなることを知らない
5. その他 ()

【Q.9】 Q6で3～7を選ばれた方は、IP 電話へ移行しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 通信障害などが多発しており、不安定であるため
2. 電話局からの通信端末への給電ができなくなるため
3. IP電話が良く分からないため
4. 現在の電話に困っていないため
5. その他 ()

非常時における通信の確保についてお伺いします。

【Q.10】貴組織・団体では、災害時などの非常時において、連絡したい相手先は、どのような組織の、どのような役職（立場）であり、また、連絡したい理由、連絡内容、考えられる手段は何ですか。相手先を、自組織内、自組織外に分けて、お答えください。

1. 自組織内の相手先（組織・役職）	連絡したい理由	連絡内容	考えられる手段
2. 自組織外の相手先（組織・役職）	連絡したい理由	連絡内容	考えられる手段

【Q.11】貴組織・団体では、国民や住民等の方から受信したい重要な情報や、国民や住民等の方へ発信したい重要な情報はありますか。その理由も、あわせてお答えください。

受信したい情報	その理由	考えられる受信手段
発信したい情報	その理由	考えられる発信手段

【Q.12】貴組織では、災害時などの非常時に通信手段をどのように確保していますか。あてはまるものを、以下からすべてお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 電気通信事業者の音声サービスを利用 | 2. 電気通信事業者の電子メール・FAX・データ通信サービスを利用 |
| 3. 電気通信事業者の専用線サービスを利用 | 4. 専用波の自営無線網を利用 |
| 5. 共用波の自営無線網 (MCA 無線・簡易無線等) を利用 | 6. その他 () |

【Q.13】貴組織・団体では、電気通信事業者網と自営通信網の使い分けはどのように行っていますか。

(自由記述)

【Q.14】貴組織・団体では、電気通信事業者が提供する電子メールやFAX等を、災害時などの非常時の通信手段として活用されていますか。あてはまるものを、以下からすべて選び、活用方法をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 電子メール	活用方法
2. FAX	活用方法
3. データ通信	活用方法
4. 静止画像	活用方法
5. 動画像	活用方法
6. その他 ()	活用方法

【Q.15】あなたの組織・団体では、停電に備えて、通信設備に対して、発電機や無停電電源装置などの電源対策を行っていますか。

1. 電源対策を行っている	2. 電源対策を行っていない (→【Q.17】へ)
---------------	---------------------------



【Q.16】「電源対策を行っている」と回答された方は、どのような対策を行っていますか。(〇はいくつでも可)

1. 発電機を配備 2. 無停電電源装置を配備 3. その他 ()
--

次に、災害時優先電話（1ページの用語説明参照）の利用状況と要望についてお伺いします。

【Q.17】貴組織・団体では、「災害時優先電話」を活用していますか。（○は1つ）

1. 災害時優先電話を活用している（→【Q.18】へ） 2. 災害時優先電話を活用していない（→【Q.19】へ）
3. 災害時優先電話を契約していない（→【Q.21】へ）

【Q.18】「**活用している**」と回答された方は、優先電話をどのように活用していますか。主に、どんな場面で、誰と、どのような通信をしているか等、具体的事例をお答えください。

（自由記入）

【Q.19】貴組織・団体は、現在の災害時優先電話に満足していますか。（○は1つ）

1. 非常に満足している（→【Q.21】へ） 2. 満足している（→【Q.21】へ）
3. 満足していない 4. 全く満足していない

【Q.20】「**満足していない**」と回答された方は、その理由は何ですか。あてはまるものを、以下から**すべて**お選びください。

（○はいくつでも）

1. 通信相手に接続できなかったため 2. 必要な回線数が割り当てられていないため
3. 音声しか優先されないため 4. その他（ ）

今後の重要通信についてお伺いします。

【Q.21】貴組織・団体では、重要通信において、電気通信事業者が提供する音声サービス以外では、どのようなものを優先的に取り扱ってほしいと思いますか。あてはまるものを、以下からすべて選び、その理由をそれぞれお答えください。

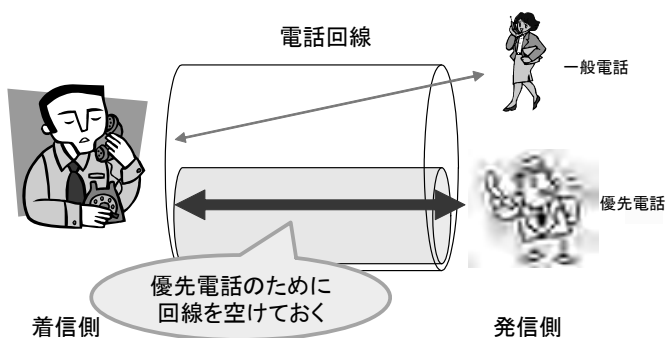
1. 電子メール	その理由
2. FAX	その理由
3. データ通信	その理由
4. 静止画像	その理由
5. 動画像	その理由
6. その他 ()	その理由

【Q.22】貴組織・団体では、以下の仕組みについてどうお考えですか。あてはまるものを、以下からそれぞれ 1 つお選びください。各仕組みについては、次頁の図表をご参照ください。(○はそれぞれ 1 つ)

	① 非常に必要である	② 必要である	③ 必要でない	④ 全く必要でない	⑤ わからない
A 災害時優先電話のために、回線を留保する(空けておく)などして帯域を確保しておく仕組み。	1	2	3	4	5
B 災害時優先電話の中でも、優先度のクラス分けを行い、重要通信を効果的に活用できる仕組み。	1	2	3	4	5
C 通話時間を制限し、災害時優先電話や一般電話がつながりやすくなる仕組み。(例えば、貴組織・団体の契約回線 100 回線中 10 回線が災害時優先電話の場合、災害時優先電話の 10 回線は確実につながりやすくなります。一般電話の 90 回線は、つながりやすくなる一方で、混雑度によって通話時間が制限され、切断されます。)	1	2	3	4	5
D 固定電話、公衆電話、携帯電話等の通信端末に関わらず、 ^{アイディ} ID (個人や組織・団体の識別番号等) を入力することで、様々な端末が災害優先電話として利用できる仕組み (現在は、固定電話等の回線毎に優先電話が設定されています。)	1	2	3	4	5
E 上記以外に、災害時通信電話において必要な仕組みはありますか。あれば具体的に記入してください。					

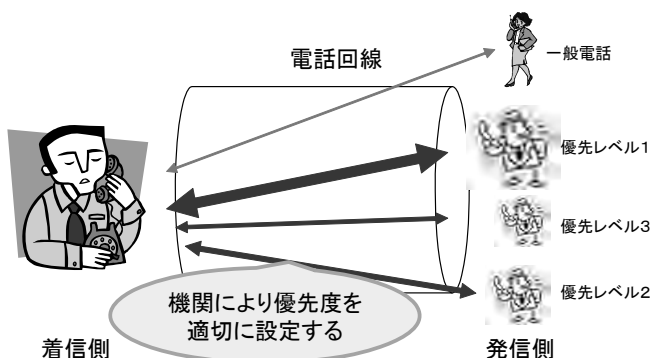
A

災害時優先電話のために、回線を留保する（空けておく）などして、帯域を確保しておく仕組み。



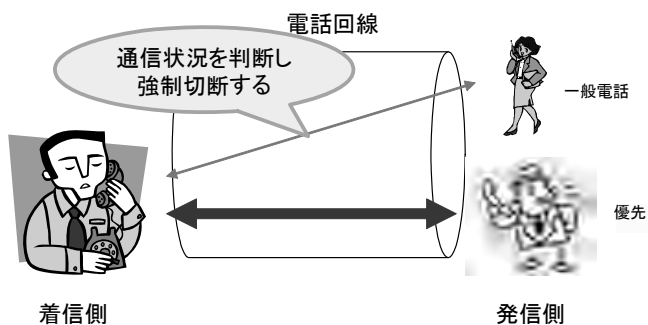
B

災害時優先電話の中でも、優先度のクラス分けを行い、重要通信を効果的に活用できる仕組み。



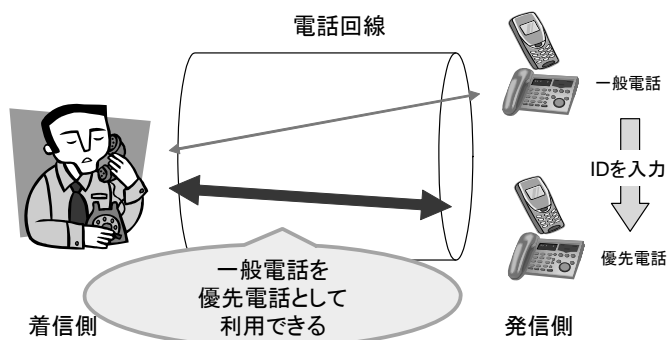
C

通話時間を制限し、災害時優先電話や一般電話がつながりやすくなる仕組み。



D

固定電話、公衆電話、携帯電話等の通信端末に関わらず、^{アイディ}ID（個人や組織・団体の識別番号等）を入力することで、様々な端末が災害優先電話として利用できる仕組み。



(次のページもお答え下さい)

最後に、アンケート全般についてお伺いします。

【Q.23】本アンケートの公表にあたっての考え方を伺いたします。本アンケートは、基本的にはとりまとめたデータを公表する予定です。しかしながら、回答の内容によっては、個別の組織・団体名が明示されてしまう場合がございます。

(〇は1つ)

1. 個別の組織・団体名が出て構わない
2. 個別の組織・団体名が出たら問題がある (この場合、業種などの明示になります)

【Q.24】その他、重要通信に関して、ご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にお答えください。

(自由記入)

貴組織・団体名	
所属部署・役職名	
ご回答者名	
電話番号	
電子メール	

アンケートは以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。